

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

平成28年 1月19日

協議会名: 河内長野市地域公共交通会議

評価対象事業名: 利用環境改善促進等事業

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
南海バス株式会社	<p>便利な運賃支払いシステムを整備することで、『バスの利用促進』、『利便性の向上』を図ることを目的として、交通系ICカードシステムの導入を支援</p>	/	<p>A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された</p>	<p>A 事業が計画に位置付けられた目標を達成した</p>	<p>【効果】 全国相互利用対応の交通系ICカードシステム導入により、市内のバス移動の際の小銭の用意や整理券の確認等といった手間が省けるとともに、鉄道や他社バスとの乗換え時の利便性も向上した。</p> <p>【改善点】 事業者と連携し、ICカードシステム導入のPRを行ってきたが、さらに認知度を高めICカードの普及促進を図っていく。また、ICカードを利用してバスや電車等を乗継した場合の料金割引施策等の調査研究も行う。</p>

事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

平成28年 1月19日

協議会名:	河内長野市地域公共交通会議
評価対象事業名:	利用環境改善促進等事業(自動車)
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	<p>キャッシュレス時代に対応した、より便利な運賃支払いシステムを整備することで、『バスの利用促進』『利便性の向上』を図ることを目的として、交通系ICカードシステムの導入を支援する。</p> <p>平成25年3月23日から主要な交通系ICカードの全国相互利用が実施されており、それらのICカードで全国の交通機関を利用したいという利用者ニーズに対応する。また、南海バス(株)は、鉄道路線へ結節する交通機関として路線網を形成しており、関係する鉄道事業者は全国相互利用対応の交通系ICカードシステムを既に導入していることから、バス事業者が行うICカードシステムの導入を支援することで、持続可能な公共交通の維持・充実のためにも、利用者にとって多様な公共交通を利用しやすい環境を確保していく。</p>